

ご契約者様

富士防災警備株式会社
代表取締役 CEO 鶴賀孝宏

弊社新型コロナウイルス「第2波感染対策」の取組みについて

拝啓 貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

弊社社業につきましては平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染につきましては、緊急事態宣言は全面解除されたものの、有力なワクチン開発にも時間を要し、ほとんどの人が免疫を持たない状態では、今後「第2波」の懸念がなされる所所あります。弊社におきましては、新型肺炎緊急対策本部のもと全社を挙げて弊社社員またはその家族から感染者が出ないように取り組んでおりますが、第2波感染対策として以下の対策強化を徹底し今なお継続しております。

一、 マスク備蓄について

元来、社名にある「防災」の観点より相当数の社員用備蓄を有しておりますが、今般更に10万枚を確保し各派遣隊社員への積極支援とともに、ご契約者様からのお申し出に対応できる体制を整えております。

二、 パルスオキシメーターや携帯型紫外線除去機の各幹部への配布について

酸素飽和濃度 (SpO2) の測定で肺機能の低下を簡易診断し、体調変化時に通院前にいち早く感染疑いを察知する体制を整えております。

三、 加湿器について

既に本社各部門や営業所に設置し感染拡大対策として取り組んでおりますが、今冬の対策として、全社員家庭への配布を検討しております。

四、 強力消毒液 (ZERO MAKER) の個人携帯用配布について

既に約1000名の全社員に配布しましたZERO MAKER (次亜塩素酸水のうち厚労省が定める有効塩素濃度、PH値に合致した最も殺菌力の高い微酸性電解質クリーナー) を更に常に携帯可能な個人携帯用として配布準備を行っております。

五、 本社バックアップセンターについて

現本社の過密度合いの緩和と万が一の本社勤務者に感染者発生ケースのリスク対応として第2本社オフィスを確保し5月より稼働させております。

六、 フェイスシールドや食料品の備蓄等について

社内感染発生及び感染拡大時の対策として備品、備蓄の見直しを実施致しました。

東京や北九州の直近の状況は、第2波の入り口にあるとされていますが、政府専門委員会の専門家は、3密を回避する、手洗い消毒の徹底、マスク着用の他に有効な対策はすぐには答えられないとのこと。弊社では、社員に医療従事者レベルの対応を指導して、第2波再流行に対処して参ります。担当幹部より具体的にご報告申し上げますので何卒宜しくお願い申し上げます。

尚、長野地方をはじめ全国的に震度4クラスの地震が多発しており、マスコミの一部では、巨大地震が切迫しているかのような記事もありますが、弊社地震予測システムS-CASTでの観測では、引き続き震度4クラスの中規模地震の発生は予測されますが、マスコミ記事のような巨大地震が切迫しているかのようなデータは無いことを報告させていただきます。首都直下や南海トラフ、千島沖等の巨大地震の前兆データが出現致しましたら至急に報告させていただきます。

敬具